

該当する事項以外は二重線で消す。

揮発性有機化合物排出施設設置~~（使用、変更）~~届出書

年 月 日

高崎市長

届出者が法人の場合は、本店の名称、所在地及び代表者の氏名を記入する。

届出者

氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

前橋市大手町1-0-1
群馬工業株式会社
代表取締役 高崎太郎
電話番号 027-224-0000

大気汚染防止法第17条の5第1項（第17条の6第1項、第17条の7第1項）の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	群馬工業株式会社 高崎工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	高崎市高松町1-0	※受理年月日	年 月 日
揮発性有機化合物排出施設の種類	2. 塗装施設 2基	※施設番号	
揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法	別紙1のとおり。	※審査結果	網掛け部分は記入不要
揮発性有機化合物の処理の方法	別紙2のとおり。	※備考	

- 備考
- 揮発性有機化合物排出施設の種類欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 - ※印の欄には、記載しないこと。
 - 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 届出書及び別紙の様式の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
 - 排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙2の届出は必要ない。

(変更届の場合)
 左欄に変更前、右欄に変更後のものを記入。
 別紙 2 も同様

揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法

工場又は事業場における施設番号		第 1 号塗装施設	第 2 号塗装施設
名 称 及 び 型 式		ノーマルポンプ式塗装施設	ドライ式塗装施設
設 置 年 月 日		年 月	
着 手 予 定 年 月 日		平成 26 年 10 月 22 日	
使 用 開 始 予 定 年 月 日		平成 26 年 11 月 10 日	
規 模	送風機の送風能力 (m ³ /h)		
	排風機の排風能力 (m ³ /h)	120,000m ³ /h	100,000m ³ /h
	揮発性有機化合物が空気に接する面の面積 (m ²)		
	容 量 (k l)		
1 日の使用時間及び月使用日数等		8 時 ~ 20 時 12時間/回 1回/日 20日/月	8 時 ~ 16 時 8時間/日
排 出 ガ ス 量(m ³ /h)		100,000m ³ /h	95,000m ³ /h
使用する主な揮発性有機化合物の種類		トルエン、キシレン	トルエン、キシレン
揮 発 性 有 機 化 合 物 濃 度 (容量比 p p m (炭素換算))		200 p p m C	
参 考 事 項			

届出の種類に応じて記入
 設置届：着手予定年月日、使用開始予定年月日
 使用届：設置年月日
 変更届：設置年月日、着手予定年月日、
 使用開始予定年月日
 別紙 2 も同様

定格能力で運転するときの最大湿り排出ガス量

処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 1 の 2 の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 4 排出ガス量は、湿りガスであつて、最大のものを記載すること。
- 5 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が 1 気圧の状態における量に換算したものとす
- 6 揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。
- 7 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 8 揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 9 参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出の抑制のために採っている方法（排出ガスを処理施設において処理しているものを除く。）等を記載すること。

処理施設を設置しない場合
別紙2の添付は不要

揮発性有機化合物の処理の方法

揮発性有機化合物の処理施設の工場 又は事業場における施設番号		第1号脱臭装置		
処理に係る揮発性有機化合物排出施 設の工場又は事業場における施設番 号		〇〇式脱臭装置 〇〇型		
揮発性有機化合物の処理施設の種類、 名称及び型式		ドライ式塗装施設		
設 置 年 月 日		年 月 日		年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		平成17年 2月22日		年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		平成17年 3月22日		年 月 日
処 理 能 力	排 出 ガ ス 量(m ³ /h)		8,000Nm³/h	
	揮発性有機化合物濃度 (容量比ppm(炭素換 算))	処理前	2,000ppmC	
		処理後	150ppmC	
処 理 効 果 (%)		92.5%		

定格能力で運
転するときの最大
湿り排出ガス量

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
- 3 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 4 揮発性有機化合物の処理施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。